

太田市環境基本計画
平成20年度進捗管理表(〇中間 | ■年度)

環境 みらい像	環境への取組み	環境項目	基準		単位	年度目標	進捗管理の実績と評価コメント		目標年度(値)	
			基準年度	基準値			実績値	評価コメント	平成28年度	
地球環境 の保全	温室効果ガス排出抑制	年間CO ₂ 排出量	H16	0.0	%	2.9	-0.1	年度目標を下回っている。天然ガスへのエネルギー転換・ごみリサイクルは大きな効果を上げているが、省エネルギー化の推進において、電力のCO ₂ 排出係数が大幅に上がったことが原因となっている。今後さらなる削減を目指し、啓発等の活動に努めたい。	14.3	
				224	万t-CO ₂	218	224.1		192	
	省エネルギー化の推進	省エネルギー率	H16	-	%	4.2	-4.3	東京電力㈱のCO ₂ 排出係数が0.339から0.425となり、電力使用によるCO ₂ 排出量が激増した。今後さらなる削減を目指し、啓発等の活動に努めたい。	12.6	
				-	t-CO ₂	69,050	-71,364		21	
新エネルギーの導入	太陽光エネルギー	H16	-	kWh/年	600,000	653,160	年度目標を上回っており、さらなる啓発等の活動に努めたい。国が平成21年1月より補助金制度を開始したことも目標達成の要因と思われる。	6,000,000 (600,000×10)		
	天然ガス	H17	4,100	万m ³	5,730	7,110	工業用部門で、天然ガス導入が進んでおり、年度目標を大幅に上回っている。今後も更なる推進が図れるように啓発活動に努めたい。	10,000		
循環型社会 の構築	ごみ減量	ごみ減量率	H16	0.0	%	31.0	14.4	資源となるプラチック類や紙類の分別排出(収集)が進んだことで一定の減量には繋がったが、現段階では家庭系可燃物に大きな割合を占める生ごみ(多量の水分を含んでおり、重量ベースでの減量の大きな阻害要素となっている)の排出抑制や資源化が進んでいないため、目標達成が困難な状況となっている。今後は生ごみの水切りとレジ袋削減を推進し、ごみ減量に努めたい。	39.0	
		ごみ排出量(家庭系ごみ)		59,383	t	40,974	50,815	36,224		
	リサイクルの推進	リサイクル率	H16	12.4	%	15.9	23.2	年度目標を上回る結果となっているが、周知徹底が行き届いていない面があるので、周知広報に努めたい。	30.0	
みどりの 保全と創造	みどりの保全と創造	公園面積(市民1人当たり)	H18	13.05	m ²	-	14.01	公園整備は順調に進んでおり、今後も事前に十分な計画を立てて推進していきたい。	14.0 (H23)	
		新田地域湧水地保全整備	-	-	-	-	実施	新田環境みらいの会により実施	実施	
		自然環境実態調査	-	-	-	-	実施	日本野鳥の会群馬県支部太田分会により実施	実施	
	環境美化・環境保全活動の推進	ポイ捨て防止活動地区	H17	16	地区/年	16	16	ポイ捨て防止重点地区を指定し、不法投棄の苦情は減少傾向にあるが、今年度(76件)は昨年度(67件)より若干増加している。	16地区継続	
	生活環境の保全	環境基準の達成	-	-	-	-	-	-	-	
		(苦情件数)	H17	300	件/年	300	360	苦情件数は増加している。基準年に比べて水質、騒音、悪臭の苦情がとくに増加している。	減少	
		(大気)光化学オキシダント(予報発令基準を超えた日数)	H17	2	日/年	2	5	注意報発令が5回発令されている。今後も迅速な対応に努めたい。	減少	
		(大気)ダイオキシン濃度	環境基準値	0.6	pg-TEQ/m ³	0.6	0.083	基準値は大幅にクリアしており、今後も調査継続し安全確保に努めていきたい。	基準値以下	
		(水質)BOD:達成箇所数/調査箇所数	H17	22.7	%	22.7	75.0	かなり向上されている。事業所排水の立入検査による監視と浄化槽の普及による家庭雑排水の浄化が要因と思われる。	向上	
		(水質)事業所排水	行政指導基準検査の実施	-	-	回/年	14	25	実施回数25回(実施地点18地点)	2
		(水質)足尾銅山の坑排水	降雨(洪水)時等の水質検査	-	-	回/年	適時	2	適時実施。鉱山からの排水は異常なし。	継続
		(水質)下水道などの普及率の推移	H18	61.0	%	65.5	66.6	年度目標を達成している。水質向上の一因となっており、今後も計画的に事業を進めていきたい。	70.0 (H23)	
		(騒音・振動)環境騒音:適合箇所数/調査箇所数	H16	昼:71.4 夜:28.6	%	昼:71.4 夜:28.6	昼:100.0 夜:66.7	今回の計測では、昼夜ともに基準値内の割合が大幅に向上している。	向上	
		(騒音・振動)道路騒音:適合箇所数/調査箇所数	H16	昼:100.0 夜:83.3	%	昼:100.0 夜:83.3	昼:100.0 夜:100.0	今回の計測では、昼夜ともにすべて基準値内であった。	向上	
		(騒音・振動)道路振動:適合箇所数/調査箇所数	H16	昼:100.0 夜:100.0	%	昼:100.0 夜:100.0	昼:100.0 夜:100.0	今回の計測では昼夜ともにすべて基準値内であった。	向上	
		(騒音・振動)自動車騒音:自動観測設置率	H18	14.7	%	40	41.2	年度目標達成。今後も計画的に事業を進めていきたい。	100	
		(悪臭)規制基準の達成	-	-	-	-	達成	適時指導	指導継続	
		(土壌汚染)規制基準の達成	-	-	-	-	達成	適時指導	指導継続	
		(地盤沈下)水準点観測:達成箇所数/調査箇所数	-	沈下量 10mm未満	%	沈下量 10mm未満	100	100	(群馬県調査)今回の調査では、沈下量10mm以上の箇所はなかった。	100
(地盤沈下)地下水位観測		S56	±0	m	±0	-0.36	(群馬県調査)若干の下降がみられた。	上昇		
(地盤沈下)地下水汲み上げ量	H17	26,250	千m ³	26,250	23,297	(群馬県調査)基準年を下回った。	抑制			
(アスベスト)水道管布設替え	H18	175.4	km	90	128.5	総合計画作成時より残存距離(195.2)が増加している。布設替え工事については、持続的に実施し、安定供給に努めたい。	0 (H23)			